

教育民生常任委員会 摘 録

1. 開催日 令和5年6月28日(水) 第2委員会室
2. 出席委員 五島誠委員長 前田智永副委員長 赤木忠徳 横路政之 宇江田豊彦 藤木百合子
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 山根啓荘議会事務局長 橋本和憲議会事務局主任主事
5. 説明員 なし
6. 傍聴者 1名
7. 会議に付した事件
 - 1 所管事務調査について
 - 2 意見書について

午後2時51分 開 議

○五島誠委員長 教育民生常任委員会を開会いたします。本日の会議におきまして、傍聴、写真撮影、録音、録画を許可しています。それでは、早速、協議事項に入ります。

1 所管事務調査について

○五島誠委員長 協議事項の1点目ということで、所管事務調査を議題といたします。前回の委員会の中で、皆様からさまざまな御意見をもらいました。その中から、教育民生常任委員会の閉会中の継続調査事項としまして、医療体制の現状と課題について、教育条件整備について、生活交通について、子育て支援についての4点を調査項目として挙げさせていただきます。これについて、皆さんから疑義がありましたら言ってください。よろしいですか。少し解説しますと、括弧の2つの項目については、庄原市だけというよりも、もう少し大きな視点になってくるということが1点。調査していくに当たって、まだ、その前段のベースといいですか、そうした、すり合わせの難しさがあるので、まず、非公式の勉強会といった形から入っていくのがいいのかなと思いましたが、本委員会としては、今回の閉会中の継続調査事項を上記の4点にさせていただきます。そうした中で、教育条件整備について、環境整備と不登校を括弧書きにさせてもらっています。皆さんからの意見を聞いた中で、ニュアンスとして、こんな感じかなと書かせてもらってはいますが、わかりづらさもあるのかなと思いますので、皆さんから何かいいアイデアがありましたら、少しお伺いしておきたいと思います。宇江田委員。

○宇江田豊彦委員 実態を認識していませんから、まず実態を認識して、実数や地域的な問題、要因といったものを明らかにしていくという作業が1点目に必要だと思います。

○五島誠委員長 横路委員。

○横路政之委員 教育条件は括弧の2つを主にすることですよね。環境整備というのは、ぼわっとなっていてよくわからない。

○五島誠委員長 これが、前期は学校統合の計画等についてという感じだったのですが、その計画だけにとどめるのではなく、それも含めた、まさに教育条件整備というところをしていきたいという思い

があります。前回、委員からもそうしたさまざまな意見がありました。不登校については、ある程度皆さんも認識しやすいのかなということで、こちらも括弧の中に入れておかないといけないと思いました。環境整備と書いているのが悩んだところで、正直、これでいいのかなというところがあるので、何かいい表現方法というか、わかりやすい書き方をしたほうが、これから調査していくに当たって、いいのかなと思いますので、アイデアをもらいたい。赤木委員。

○赤木忠徳委員　きょうの一般質問にしても、教育委員会は、一貫して、小規模校については統合するという考え方をいまだに持っている。例えば、きょうお話しした永末小学校についても、ピークが7年と言っていましたが、美湯ハイツには、まだ空き地がいっぱいあります。ふえる可能性はあります。よそから来るのではなくて、庄原市の全体の中から、そこへ若者が入ってくるというのが、西城などは若い人がそういうところに非常に行くのです。若い人が行くということは、新たに結婚していくということになると、子供がそこに集まってくる可能性があるんで、いまだにその永末小学校はピークが来るから、もう何年かすれば少なくなるというような、希望的観測いう形を持ってきょうの発言をしていると思うのですよね。そこらあたりのことを、本当に何年先まで今の子供たちがそういう状況で本当にいいのかどうか。やはりそこらも考えないといけないし、それから比和の問題でも、高野にしても、三次中学校ができたために、早くから三次中学校へ行くために、生徒がどんどん減ってくる。その地域にはいるのに、学校にいなくなる。庄原中学校と一緒にすることがいいのかどうか。議員が反対したのは何かと言えば、その子供たちが庄原中学校へ行くのに、交通時間がどれぐらいかかるか。そんなことを考えたら、逆に言えば、前も言いましたように、小学校と中学校を一緒にして、比和小中学校といった新たな環境づくりも含めて、可能性を含めて、議員から先に研究していくのがいいのではないかなという思いがしています。

○五島誠委員長　横路委員。

○横路政之委員　環境整備というのは、統廃合のことをもう1回してみようということなのか。違うでしょう。

○宇江田豊彦委員　これは前期の2年間にかかって、ここへあがっているのです。前期は、適正配置の取り組みが凍結された。凍結されたけれども、適正配置をすれば、教育施設のある程度の充実ができるという物の考え方があったのです。だから、小規模の小学校等、十分な設備が整備されていなくても、少し大きい規模の学校と一緒にして、そこを充実させていく方向の計画なのです。けれども、それが凍結をされたことによって、現状の中で、教育条件整備をどのように進めなければならないかという課題を洗い出そうということです。永末小学校であったり、栗田小学校であったり、そういう、課題のある小学校に対して、どういうことが今必要なのか。山内小学校にも行きました。山内小学校の現状はどうなのかを確認して、当面、そこは統廃合しないわけですから、それならそれで、何が今必要なのかというまとめをしていこうということで、前期はこれが挙がったのです。だから、その流れをくんで考えていかなければならないのではないかと思います。

○五島誠委員長　横路委員。

○横路政之委員　林議員が報告されましたよね。小規模がいいというまとめだったと私は覚えている。

○宇江田豊彦委員　そんなに短絡的でもないのです。報告書をもう1回見てもらったらわかると思うのですが、小規模がいいとだけは書いていないのです。小規模は小規模なりのよさがある。大規模には大規模のよさがあるという両論併記なのです。そういうまとめ方になっています。それぞれの課題も

幾分か挙げさせてもらっている状況です。

○五島誠委員長 横路委員。

○横路政之委員 要するに、今のところは、地元の意見、保護者の意見を聞いて進めるということで落ちていますよね。声が上がってくるまでは、中学校はもうしないというような結論から、そういう状況になっていますよね。ここに挙がってきたことは、今の学校、栗田と永末は両極端ですよね。多くなっていっているところと、もうどうするのかというところ。学校を続けていくためには何が必要かということ調査するということか。

○宇江田豊彦委員 そういう流れです。前期からの流れを引き継いでいけば、そういうことです。当面、施設整備でいえば、どういうところに今課題があるか。

○五島誠委員長 横路委員。

○横路政之委員 だから、先生の加配とか、県教委が決めることに対しても踏み込んでいかざるを得ないことになる可能性もありますよね。もう少し先生をふやせとか。

○五島誠委員長 赤木委員。

○赤木忠徳委員 2年かけて調査したことをステップアップしていくという考え方で、今までしてきたことに対して、今後、この学校を維持管理するためには、永末なら、永末はどういうことが必要なのか。私自身も、この前、永末の住民から放課後児童クラブの状況が最悪なのだと。20人しか定員がないのに3倍くらいの希望者がいて、保育所をなぜ使わないのか。今回やっと、保育所を使い出したという状況。結局、これも緊急措置として保育所を使っているだけで、保育所のトイレを直すわけでもないし、直せないのですよね。保育所を再開するのか再開しないのかわかりもしないような言い方をして、結局は、とにかく、永末小学校は今のピークが終わったら減るのだというような乱暴な言い方をしている。あんなに極端に下がるわけではないのだから、そこらも含めて、維持管理するのに最低限これだけは必要なのだという環境整備は、きちんとしていかないと平等な教育を受けられない。そこに我々がメスを入れていかないといけないのではないかなという思いがしています。

○五島誠委員長 委員長としても、この教育条件整備を課題として挙げるに当たって、先ほどあったような、統廃合計画の流れというのを組んで考えないといけないところももちろんですし、それにフォーカスするのではなく、根本として、この庄原市の公教育の在り方として、よく魅力ある学校教育がどうかいろいろありますが、そうした中で、先ほど赤木委員が言われたような視点ももちろんある。どう進めていくのが本当に庄原市の小学校・中学校にいいのかなということを、単純に、もっこの委員会で勉強して、要は、統廃合ありきで考えなくなかったのがこういった書き方にしたいと。少しわかりにくいので、教育条件整備については1つの項目として、不登校についても1つの項目として、分けて考えていきたいと思います。なので、4項目と申し上げましたが、5項目として整理します。そのように、皆さん、確認をしてもらえればと思います。よろしいでしょうか。所管事務調査については、この項目としますので、よろしく願います。

2 意見書について

○五島誠委員長 2点目の意見書に移りたいと思います。先般、宇江田委員より提案があったものについて、先般の委員会で議論をしてもらいまして、再度、宇江田委員から説明をしてもらおうと思いま

す。宇江田委員、よろしくお願いします。

○宇江田豊彦委員 前回、義務教育費国庫負担制度堅持の意見書を御議論してもらいました。いろいろと御意見をもらったところを、文書的に修正いたしました。一番最初に、意見書の題名を変えました。本市の実情に合わないという御意見をもらいましたので、「さらなる」を削除して、「少人数学級の実現と教職員定数の改善及び義務教育国庫負担制度拡充を求める意見書」にしました。2点目に、本文7行目の「さらなる」を削除し、「さらなる学級編成基準の引き下げ、少人数学級の実現が必要です」と表記していたのを、「学級編成基準の検討が必要です」という文章に変更しました。それから、記に書いています、具体的要請項目。まず、1点目、「また、さらなる少人数学級について検討すること」と書いてあるのを、「また、児童・生徒の背景に沿った教育が実施できる体制整備を推進すること」に変えました。それから、「教職員の担い手不足の原因を明らかにし、抜本的対策を講ずること」を7点目に加えるように変えました。皆さんに御議論をしてもらいたいと思います。

○五島誠委員長 それでは、皆さんから質問、意見がありましたら伺いをしたいと思います。ありますか。よろしいですか。それでは、先ほど宇江田委員に説明してもらった意見書を、本会議に上程していきたいと思います。よろしいですか。では、そのようにします。それでは、協議事項2点目の意見書についても閉じます。ここで、今後の教育民生常任委員会の流れについて、少しお話をさせてください。まず、先ほど宇江田委員の意見にもありましたけれども、現状について、各項目それぞれを、まずはしっかりと知っていかなければならないということもありますし、私も含めて委員のメンバーも前期から交代をしていますので、まずは、担当課等からの聞き取りもしていかなければいけないということがあります。そうした中で、前回、委員会の中で、月2回しようという話をさせてもらいました。勝手に決めても仕方ないので、皆さんの7月の御都合を聞いておきたいと思います。既に10、11、12日はできないということで伺っています。それ以外の日程のところ。あまり遅くなってもいけないのかなと。7月の中旬あたりで、どこかで1度。3、4日もだめという声がありました。5、7日もだめ。大体に、皆さんの中で避けてほしい曜日はありますか。基本路線として、第1、第3週か、第2、第4週かは別として、木曜日開催が多いということで理解してもらっていいですか。木曜日は藤木議員が少し厳しい。それでは、皆さん、金曜日で大丈夫ですか。だめな時はそうだし、場合によっては、先方の都合とかさまざまな要因があるとは思いますが、基本路線として、第1、第3金曜日を委員会日と理解しておいてもらえれば、今後、進めやすいのかなと。当然、変更はその都度ありますけれども、基本路線として、第1、第3金曜日ということで検討させてください。次回、7月7日、七夕ですけれども、委員会を開催させてもらって、今後の閉会中の継続調査事項について、どのように進めていくのか。

○宇江田豊彦委員 7日は議会運営委員会の日だから、昼からにするとか。

○五島誠委員長 横路委員は、7日はいけないと。副委員長。

○前田智永副委員長 先ほどの皆さんの御意見の中から抜粋しまして、6、13、14日しかだめだと思います。この中から決定しないといけないかと思います。

○五島誠委員長 そうしたら、6日はどうですか。だめなのですね。14日ならいいですか。14日にさせてもらいます。そうしたら、第2、第4金曜日にさせてください。金曜日だと思ってもらえばいいです。14日は10時からでもいいです。もし、この日に聞きたいというのが既にあれば、少し時間があるので担当課と調整させてもらいます。任せてもらっていいですか。それと、もう1点。今後の日程

で、さらなる子育て支援ということで、岡山県の奈義町という町は、合計特殊出生率が2.9あります。聞いてみれば、全国によくある子育て支援の経済支援とか、そうしたものについては、いいところをほとんどしているような感じで、プラス、就労のことであったり、そういった、さまざまな取り組みをされている中で、町長にお話を聞いてみますと、よく言われるそうです。高齢者をほうっておいて、若いものだけするのかと。いや、違うのですよと。若い者を支援することによって、その力で高齢者を支えていくのだ、というような信念を強くお持ちの町長だったので、1度話を聞かせてもらうのがいいのかなと思いました。全国平均の約2倍です。出生数は大体50人ぐらいで、割と安定しています。岡山県なので、日帰りで行けるのではないかと思います。こちらについても、日程を調整させてもらって、14日の日に皆さんに、この日に行きたいと言えればいいかなと思います。7月、8月の皆さんの御都合でだめだというところがあれば、あらかじめ事務局に報告をしてもらえば、そこで日程調整ができます。7月、8月の、既にわかっている、明らかに無理な日程がありましたら教えてください。ということで、7月14日にまた委員会を行いますので、よろしくお願ひします。では、あさっての本会議で、先ほどの意見書を上程いたしますので、よろしくお願ひいたします。以上で、教育民生常任委員会を終了します。

午後3時15分 散 会

庄原市議会委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

教育民生常任委員会

委員長